

たまがわの風

No.30

平成27年10月16日 校長室発

本校は二学期制をとっていますので、10月9日に前期終業式がありました。これからわずかな期間ですが秋休みがあります。しかし、それが終わるとたまがわフェスティバル体育部、文化の部、学校見学会と大きな行事が続きます。特に今年の文化の部は10周年記念大感謝祭と名付け、例年より模擬店等が拡大されています。お楽しみにしてください。

校長室の窓からは、生徒たちの体育の部の集団演技の練習、応援団の練習の掛け声が響き、本校が一年で一番忙しい季節を迎えます。学校行事をとおして成長してくれることを期待しています。

<前期終業式>

○私の講話(抜粋)

ついこの間平成27年度が始まったと思ったら、いつの間にか半年たってしまいました。この半年間の学校生活は充実していましたか。

私は最近のいじめに関するニュースに心を痛めています。夏休み入ってすぐ、宮城県の中学2年生が同級生のいじめにより自殺しました。

いじめは、無視、嫌味、悪口、陰口から始まり、その次の段階では、明確な仲間外れ、ノート破り、持ち物隠し、落書き・最後は暴力やたかりなどにエスカレートしていきます。自分と合わない人を仲間はずれにする、悪口をいうことでスカッとする気持ち、人をあざけることで自分の不満やはけ口にするという身勝手な心から始まります。

人権とは、すべての人間に保障されている「人間らしく生きる権利」のことで、何よりも尊重されなければならないものですが、いじめは被害者の「基本的人権」を踏みしめるものです。

加害者は、「あれは、遊びのつもりだった」と言っているようですが、もし遊びという認識であったとすれば実に恐ろしいことです。

嫌味や悪口は、言う人は軽い気持ちで言ったので、すぐ忘れてしまうかもしれません。しかし、言われた人は一生取り返しのつかない心の傷として深く残るときがあります。言葉だけでなく行動も同じです。

世の中には、様々なタイプの人があります。おとなしい人も活発な人も、数学の得意な人も苦手な人も、体育も同じ、背の高い人低い人、太っている人痩せている人など、10人いたら10の個性が、1億人いたら1億の個性があります。互いの違いを認め合うことが大切です。私はみなさんが人の心の痛みをわかる優しい人になってほしいと思います。そして全員がそれを心がけ、たまがわが本当に優しい学校になってほしいと願います。皆さん協力してください。

この後担任の先生から通知表をもらい、前期のまとめをしっかりとしてください。そしてわずかな秋休みが終われば、後期はいろいろな行事がたくさん予定されています。みんなで力を合わせて取り組んでいきましょう。

<生徒会選挙>

後期の生徒会選挙がありました。例年同様、体育館で立会演説会を実施し、立候補者たちが熱い思いを訴え「清き一票をお願いします!」と声を張り上げていました。会長1名、副会長2執行委員4名の議席に何と計16名が立候補、例年以上に熱い(!)立会演説会になりました。

そのあとは本物とそっくり用意された投票会場に移動し、受付で名前の確認、投票用紙受領、名前の記載、投票という順番に進みました。今年は受付や案内役も全て生徒が行いました。選挙権が18歳からとなり、早ければ来年の参議院選挙から投票することになります。その頃には今の3年生は全員、今の2年生でそれまでに誕生日を迎える人は投票権があります。選挙で自分たちの代表を選ぶ大切さを実感できたので、大変いい機会になったと思います。



たくさんの生徒が立候補しました。



投票風景です。今年は案内係も生徒がしました。